

No.162

令和2年5月21日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

# Rising Sun



## 収束…？。そして、学校再開へ。

愛知県を含む39県の緊急事態宣言が解除されて1週間が過ぎました。18日からは、学校再開準備期間の措置として、1/2 ずつの分散登校ではありますが、生徒たちが毎日登校しています。久しぶりの登校風景を目にして思うことは、「学校は生徒たちがいてこそその場所・空間であり、生徒たちがいることによって輝きを増す場である」ということです。

制服姿の生徒たちは、遠目からだどの学年も同じように見えますが、真新しい靴を履いているので、名札の色を見るまでもなく、1年生だということはすぐにわかります。新年度が始まって1か月半以上が経過し、制服も靴もやっと日の目を見ることができました。長いブランクだったようにも感じますが、これから先、靴の汚れとともに、中学生としての自覚が芽生えていってくれることを願っています。

生徒たちの登校する様子や教室で机に向かう姿から、2か月半前と比べて大きく変化している生徒はいないように思いましたが、いかがでしたでしょうか。生徒の内面まで覗くことはできませんので、私には心の変化は読み取れません。面談をしたり何気ない会話をしたりするなかで、変化を感じるようなことがあったら、親身になって話を聞いてあげてください。その変化に負の匂いを感じたら、学年で情報を共有してください。生徒指導主事の杉本先生が今朝してくれたように、場合によっては全職員にも知らせるようお願いいたします。本格的な学校再開に向けて、今、大切にしなければならないことは、傾聴する姿勢など、生徒たちを温かく迎え入れることです。そして、負の芽は小さなうちに摘むということです。よろしくお願いいたします。

さて、今日まで東京をはじめとする8都府県は緊急事態宣言が解除されないままでしたが、政府は大阪、京都、兵庫の関西2府1県の緊急事態宣言を解除する方針を固めたと報じられています。解除の目安である直近1週間における人口10万人あたりの新規感

染者数の0.5人未満がクリアされていない東京、神奈川県、北海道と、東京と隣接し生活圏を同じくする埼玉、千葉は継続される見込みだそうです。

気をつけなければならないことは、前号でもお伝えしたように、**解除≠安全宣言**ということです。近頃ふと気づいたことがあります。緊急事態宣言が発出された直後は、通勤途上すれ違うドライバーの9割はマスクを着用していました。しかし、解除後の今は9割のドライバーはマスクを着用していません。暑さが増してきたということ差し引いても、緩みを感じてしまいます。

緊急事態宣言を解除する際、安倍首相が発した私たち国民に対するメッセージを確認しておきたいと思えます。

- 1 外出自粛はお願いしないが、最初は人との面会は避ける。電話で済むものは済ませるなど、人との接触はできる限り減らす。解除された地域の中でも県をまたぐ移動は、少なくとも今月中は控えるなど、段階的に日常の暮らしを取り戻していく。
- 2 オフィスの仕事のテレワークが普及した。改善すべきは改善しながら、前向きな変化を今後も継続させてもらいたい。混雑を避ける時差通勤などは、これからも続けてほしい。
- 3 こまめな手洗いはもとより、常に人との距離を取り、密集を避ける。外出するときは必ずマスクを着用し、密接はできるだけ避ける。活動は屋内より屋外で密閉は避ける。「新しい生活様式」を参考に、「三つの密」を生活のあらゆる場面で避けてほしい。

1と2はともかく、3については、学校生活を送るうえでも十分に気をつけていかなければなりません。臨時休校が明けて、明日は初めて全校生徒が登校します。私たち自身はもちろんのこと、生徒たちへ極力励行するよう啓発・指導してください。よろしくお願いいたします。